

7.皮膚障害を起こしやすい抗がん剤について — 一覧表を示します —

同じ皮膚症状でも薬の種類や投与量によって、頻度が異なります。また、同じ薬でも症状の程度は個人差があります。下記の表ではこの小冊子の中で紹介している症状に絞って、薬別に起こりやすい皮膚症状をまとめました。

◆◆◆殺細胞性の抗がん剤(*)◆◆◆

(*)殺細胞性の抗がん剤とは・・・

細胞が分裂して増える過程に作用する抗がん剤。細胞増殖の盛んな細胞を障害します。

一般名※	商品名※	皮膚に関する副作用	対象となるがんの種類
フルオロウラシル	5-FU フルオロウラシル (注)	手足症候群、色素沈着、爪の変化、掻痒症	胃がん、肝臓がん 大腸がん、乳がん、膵臓がん、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、食道がん、肺がん、頭頸部がん、小腸がん
カペシタビン	ゼローダ カペシタビン	手足症候群、色素沈着、皮膚乾燥、落屑、爪の変化、掻痒症	乳がん、胃がん 大腸がん
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム	ティーエスワン* (*他に多数の後発品があります)	手足症候群、色素沈着、皮膚乾燥、落屑、爪の変化	胃がん、大腸がん 非小細胞肺がん 乳がん、頭頸部がん、膵臓がん、胆道がん

一般名※	商品名※	皮膚に関する副作用	対象となるがんの種類
テガフル・ウラシル配合カプセル剤 テガフル（腸溶）・ウラシル配合顆粒剤	ユーエフティ配合カプセル ユーエフティE配合顆粒	色素沈着、手足症候群、爪の変化	頭頸部がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、胆のう・胆管がん、膵臓がん、肺がん、乳がん、膀胱がん、前立腺がん、子宮頸がん
メトトレキサート	メトトレキサート メトトレキサート	色素沈着、光線過敏症、ざ瘡	肉腫、急性白血病、悪性リンパ腫など
シタラビン	キロサイド シタラビン	発疹、手足症候群（高用量）	急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、悪性リンパ腫
ドキソルビシン	アドリアシン ドキソルビシン	色素沈着	悪性リンパ腫、肺がん、消化器がん 乳がん、膀胱腫瘍、骨髄腫、など
リポソーム化ドキソルビシン	ドキシル	手足症候群、発疹、色素沈着、爪の変化	卵巣がん、エイズ関連カポジ肉腫
エピルビシン	ファルモルビシン エピルビシン	色素沈着、掻痒症、爪の変化(色)	急性白血病、悪性リンパ腫、乳がん、卵巣がん、胃がん、肝臓がん、膀胱がん、腎盂・尿管腫瘍

一般名※	商品名※	皮膚に関する副作用	対象となるがんの種類
ブレオマイシン	ブレオ	発疹、色素沈着、爪の変化	皮膚がん、頭頸部がん、肺がん、悪性リンパ腫、食道がん、子宮頸がん、神経膠腫、甲状腺がん、など
ドセタキセル	タキソテール ドセタキセル ワクタキソテール	手足症候群、色素沈着、爪の変化	非小細胞肺がん 乳がん、卵巣がん 子宮体がん、前立腺がん、頭頸部がん、食道がん、胃がん
パクリタキセル	タキソール パクリタキセル	発疹、色素沈着、手足症候群、皮膚乾燥、爪の変化、掻痒症	非小細胞肺がん 乳がん、卵巣がん 子宮体がん、胃がん、頭頸部がん、食道がん、血管肉腫、子宮頸がん、胚細胞腫瘍
パクリタキセル (アルブミン懸濁型)	アブラキサ	発疹、爪の異常、手足症候群、皮膚乾燥、色素沈着	乳がん、胃がん、非小細胞肺がん 膵臓がん
エトポシド	ベプシド ラストット エトポシド	発疹	小細胞肺がん、悪性リンパ腫、急性白血病、睾丸腫瘍、膀胱がん、など

一般名※	商品名※	皮膚に関する副作用	対象となるがんの種類
ブスルファン	ブスルフェクス	発疹、紅斑、色素沈着、掻痒症	ユーイング肉腫 ファミリー腫瘍、 神経芽細胞腫、 悪性リンパ腫
シスプラチン	シスプラチン ランダ	発疹、色素沈着、 掻痒症	肺がん、消化器 がん、婦人科が ん、泌尿器系の がん、など
チオテパ	リサイオ	皮膚色素過剰、皮 膚乾燥、掻痒症、斑 状丘疹状皮疹	悪性リンパ腫、小 児悪性固形腫瘍
ベンダムスチン	トレアキシ	掻痒症、発疹	低悪性度 B 細胞 性非ホジキンリ ンパ腫、マントル 細胞リンパ腫、慢 性リンパ性白血 病

※薬の一般名と商品名

「一般名」とは薬の有効成分を示す名前です。これに対して「商品名」とは製薬企業が医薬品を販売するためにつけた名前です。

